令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数	対象学年・組
国語	論理国語 （ 2 単位）	4年B組

使用教科書:	50大修館・論国706 新編論理国語	使用教材等:	

学習目標: 論理的に「読む」「書く」力を身につける。さまざまな場面で、自らの目標をもって国語の力を身につける。

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
常用漢字の読み書きができる。論理的な表現に必要な語彙を理解し、使うことができる。構成を考えて文章を読み書きする。	文章の要旨を正確にとらえ、内容を分析して、問題点を見つけることができる。論理的思考を用いて、表現することができる。	問いを立て、テーマを深めることができる。発想を広げて、多様な他者を想定し、自分の意見を発信することができる。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）	筆者の問題意識をとらえさせ、主張を読み取らせる。				6
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）					
		「補助線を引きながら考える」（鷲田清一）		○		○	
		「補助線を引きながら考える」（鷲田清一）			○	○	
		「補助線を引きながら考える」（鷲田清一）			○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	自分自身を客観視し、認識を深めさせる。必要な情報を集め、整理し、わかりやすくまとめさせる。（中間考査 5/26-29）		○	○	8
		「補助線を引きながら考える」（鷲田清一）			○	○	
		「自分を客観的に見つめよう」		○		○	
		「自分を客観的に見つめよう」		○	○	○	
		中間考査		○	○		
	6月	「和の思想、間の文化」（長谷川櫂）	筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味させる。例の展開のしかたや具体例の役割について考えさせる。	○		○	8
		「和の思想、間の文化」（長谷川櫂）			○	○	
		「和の思想、間の文化」（長谷川櫂）			○	○	
		「和の思想、間の文化」（長谷川櫂）			○	○	
		「根拠を吟味しよう」		○		○	
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）				6
		答案返却					
		（職業体験会、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式	複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深めさせる。問題提起と答えの関係を的確に捉えさせ、自分の考えを持rたせる。				8
		「人類の進化から考える『心』の誕生」		○		○	
		「人類の進化から考える『心』の誕生」			○	○	
		「人類の進化から考える『心』の誕生」			○	○	
		「人類の進化から考える『心』の誕生」			○	○	
	10月	「複数の文章を比較し、分析しよう」	（中間考査 10/14-17）複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深めさせる。具体例と主張の関係をとらえさせ、自分の意見を持たせる。	○		○	8
		「複数の文章を比較し、分析しよう」		○		○	
		中間考査					
		「ロボットに心はあるか」（石黒浩）		○		○	
		「ロボットに心はあるか」（石黒浩）			○	○	
	11月	農高祭準備、農高祭	（ボランティアの日・農高祭・振休 11/2-11/10）発想のしかたや論理の展開に注意して、筆者の主張を読み取らせる。				8
		セーフティ教室					
		「ロボットに心はあるか」（石黒浩）			○	○	
		「政治の本質」（橋爪大三郎）		○		○	
		「政治の本質」（橋爪大三郎）		○		○	
	12月	「政治の本質」（橋爪大三郎）	（期末考査 12/7-11）	○		○	6
		期末考査		○	○		
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）	日本社会や世界が抱える課題に関心をもち、考えを広げたり深めたりさせる。論理の展開に注意して筆者の主張を的確につかみ、自分の考えを持たせる。				8
		始業式					
		「豊かさとつながり」（阿部健一）		○		○	
		「豊かさとつながり」（阿部健一）			○	○	
		「豊かさとつながり」（阿部健一）			○	○	
	2月	卒業考査	（自宅学習・入選・採点2/19-24）	○	○		8
	3月	学年末考査	（学年末考査 3/1-5）				4
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	78
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数	対象学年・組
国語	文学国語 （ 2 単位）	4年B組

使用教科書:	新編　文学国語（大修館書店）	使用教材等:	
学習目標:	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。		

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたりすることができるようにする。	授業中の参加する姿勢や態度、発言や発問に対する回答、ノート・課題・プリント等への取り組みと提出状況等を総合的に評価する。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）					6
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）	登場人物の視点や表現の特色に注目し、その働きを意識しながら読ませる。				
		「待合室」内海隆一郎		○		○	
		「待合室」内海隆一郎			○	○	
		「待合室」内海隆一郎			○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	形式や表現に注意して短歌・俳句を読み味合わせる。	○		○	8
		短歌・俳句		○		○	
		短歌・俳句		○	○	○	
		短歌・俳句	（中間考査 5/26-29）	○	○	○	
		中間考査		○	○		
	6月	「共感と驚嘆」穂村弘	筆者の考える、短歌が人を感動させるための方法を読み取らせる。	○		○	8
		「共感と驚嘆」穂村弘			○	○	
		「共感と驚嘆」穂村弘			○	○	
		源氏物語	登場人物の設定や描写の仕方を捉え、読みを深めさせる。	○		○	
		源氏物語			○	○	
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）	○	○		6
		答案返却					
		（職業体験会、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式	登場人物の描写から、場面ごとの心情の変化を読み取らせる。作品の状況設定を的確に捉え、寓意性を読み取らせる。				8
		「離さない」川上弘美		○		○	
		「離さない」川上弘美			○	○	
		「離さない」川上弘美			○	○	
		「離さない」川上弘美			○	○	
	10月	「離さない」川上弘美	（中間考査 10/14-17）		○	○	8
		「離さない」川上弘美			○	○	
		中間考査	登場する生き物たちの性格や心理を読み取らせる。				
		「山椒魚」井伏鱒二		○		○	
		「山椒魚」井伏鱒二		○		○	
	11月	農高祭準備、農高祭	（ボランティアの日・農高祭・振休 11/2-11/10）				8
		セーフティ教室					
		「山椒魚」井伏鱒二	話のおもしろさと、そこに込められた寓意を読み味合わせる。		○	○	
		「山椒魚」井伏鱒二			○	○	
		「山椒魚」井伏鱒二			○	○	
	12月	「山椒魚」井伏鱒二	（期末考査 12/7-11）		○	○	6
		期末考査		○		○	
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）	さまざまな小説を読み、構成や表現の工夫を読み取らせる。				8
		始業式					
		「私たちの黄色」角田光代		○	○	○	
		「タイムリミット」朝井リョウ		○	○	○	
		「書斎」眉村卓		○	○	○	
	2月	卒業考査	（自宅学習・入選・採点2/19-24）	○	○		8
	3月	学年末考査	（学年末考査 3/1-5）				4
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	78
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
地理歴史	世界史探究	（	3	単位）	第4学年・B組

使用教科書：	世界史探究（第一学習社）	使用教材等：	プリント・一人1台端末

学習目標： 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ，課題を追究したり解決したりする活動を通して，広い視野に立ち，グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

観点別の評価基準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに，諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年代，推移，比較，相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）	プリントを用いた指導 一人1台端末を活用した指導				9
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）					
		世界史へのまなざし		○	○	○	
		古代文明の歴史的特質		○	○	○	
		古代文明の歴史的特質		○	○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	（中間考査 5/26-29） プリントを用いた指導 一人1台端末を活用した指導				12
		古代文明の歴史的特質		○	○	○	
		諸地域の歴史的特質		○	○	○	
		諸地域の歴史的特質		○	○	○	
		中間考査		○	○		
	6月	諸地域の歴史的特質	プリントを用いた指導 一人1台端末を活用した指導	○	○	○	12
		諸地域の歴史的特質		○	○	○	
		諸地域の歴史的特質		○	○	○	
		諸地域の歴史的特質		○	○	○	
		諸地域の歴史的特質		○	○	○	
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）	○	○		9
		答案返却					
		（職業体験会、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式	プリントを用いた指導 一人1台端末を活用した指導				12
		結びつくユーラシアと諸地域		○	○	○	
		結びつくユーラシアと諸地域		○	○	○	
		結びつくユーラシアと諸地域		○	○	○	
		結びつくユーラシアと諸地域		○	○	○	
	10月	アジア諸地域とヨーロッパの再編	（中間考査 10/14-17） プリントを用いた指導 一人1台端末を活用した指導	○	○	○	12
		アジア諸地域とヨーロッパの再編		○	○	○	
		中間考査		○	○		
		アジア諸地域とヨーロッパの再編		○	○	○	
		アジア諸地域とヨーロッパの再編		○	○	○	
	11月	農高祭準備、農高祭	（ボランティアの日・農高祭・振休 11/2-11/10） プリントを用いた指導 一人1台端末を活用した指導				12
		セーフティ教室		○	○	○	
		冷戦と脱植民地化・第三勢力の台頭		○	○	○	
		冷戦と脱植民地化・第三勢力の台頭		○	○	○	
		冷戦と脱植民地化・第三勢力の台頭		○	○	○	
	12月	冷戦と脱植民地化・第三勢力の台頭	（期末考査 12/7-11） プリントを用いた指導 一人1台端末を活用した指導	○	○	○	9
		期末考査		○	○		
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）	プリントを用いた指導 一人1台端末を活用した指導				12
		始業式					
		冷戦と脱植民地化・第三勢力の台頭		○	○	○	
		冷戦と脱植民地化・第三勢力の台頭		○	○	○	
		冷戦と脱植民地化・第三勢力の台頭		○	○	○	
	2月	卒業考査	卒業考査	○	○		12
	3月	学年末考査					6
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	117
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
公民	政治・経済	（	2	単位）	4B

使用教科書:	『最新　政治・経済』 実教出版	使用教材等:	ワークシート、視覚教材等

学習目標: 政治、経済のしくみの基本的な知識を理解するとともに、民主的、平和的な国家・社会の有為な形成者として必要な公民としての資質を養う。

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解している。また、諸資料から様々な情報を適切効果的に調べまとめている。	現代日本における政治・経済の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的に考察したり解決に向けて合意形成や社会参画を視野に入れながら公正に判断している。	国民主権を担う主権者として政治・経済の諸課題に対する意識を強く持ち、課題にかかわる知識を主体的に深めたり、課題解決に向けた多面的・多角的な考察を意識的に行おうとしている。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）	民主政治の基本原理・民主政治のしくみと課題 世界のおもな政治制度 【ワークシート提出等】				6
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）					
		オリエンテーション				○	
		現代国家と民主政治		○			
		現代国家と民主政治			○		
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	日本国憲法の成立 日本国憲法の基本原理 政治機構と国会 （中間考査 5/26-29）	○			8
		日本国憲法と基本的人権		○			
		日本国憲法と基本的人権			○		
		日本の政治制度と政治参加				○	
		中間考査		○	○	○	
	6月	日本の政治制度と政治参加	内閣と行政機能の拡大 公正な裁判の保障 地方自治と住民福祉 政党政治・選挙制度 【ワークシート提出等】	○			8
		日本の政治制度と政治参加			○		
		日本の政治制度と政治参加		○			
		日本の政治制度と政治参加		○	○		
		日本の政治制度と政治参加			○	○	
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）	○	○	○	6
		答案返却		○	○	○	
		（職業体験会、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式	経済主体と市場の働き 企業の役割 国民所得・経済成長 【ワークシート提出等】				8
		現代の経済社会		○			
		現代の経済社会			○	○	
		現代の経済社会		○			
		現代の経済社会			○		
	10月	現代の経済社会	金融の役割 日本銀行の役割 （中間考査 10/14-17） 財政の役割と租税・財政の課題 【考査・ワークシート提出等】		○		8
		現代の経済社会				○	
		中間考査		○	○	○	
		現代の経済社会		○			
		現代の経済社会			○	○	
	11月	農高祭準備、農高祭	（ボランティアの日・農高祭・振休11/2-11/10） 中小企業と農業 消費者問題 労働者の権利 【ワークシート提出等】				8
		セーフティ教室					
		現代の日本経済と福祉の向上		○			
		現代の日本経済と福祉の向上			○		
		現代の日本経済と福祉の向上				○	
	12月	現代の日本経済と福祉の向上	こんにちの労働問題 （期末考査 12/7-11） 【考査・ワークシート提出等】		○	○	6
		期末考査		○	○	○	
		答案返却、行事		○	○	○	
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）	社会保障の役割と課題 国際連合と国際政治 貿易と国際収支・為替レート 【ワークシート提出等】				8
		始業式					
		現代の日本経済と福祉の向上		○			
		国際政治の動向と課題			○	○	
		国際経済理論		○	○		
	2月	卒業考査、答案返却	（卒業考査 2/2-5） 【考査等】 （自宅学習・入選・採点2/19-24）	○	○	○	8
	3月	学年末考査					4
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	78
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
数学	数学A	（	2	単位）	4学年

使用教科書：	高校数学A	使用教材等：	ステップノート 数学A 高校生の基礎数学トレーニング

学習目標： 基礎的・基本的な計算力を身につけ、自ら積極的に課題解決をしようとする態度を養う。

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
数学Aにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力，数学と人間の活動との関わりに着目し，事象に数学の構造を見いだし，数理的に考察する力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。また，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）					6
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）					
		基礎力診断テスト		○		○	
		基礎計算		○		○	
		図形の基本　基礎数学トレーニング1		○	○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	（中間考査 5/26-29）				8
		三角形の角　基礎数学トレーニング2		○	○	○	
		（修学旅行）					
		三角形と線分の比　基礎数学トレーニング3		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
	6月	中点連結定理　基礎トレーニング4		○	○	○	8
		角の2等分線と線分の比　基礎トレーニング5		○	○	○	
		三角形の外心　基礎トレーニング6		○	○	○	
		三角形の内心　基礎トレーニング7		○	○	○	
		三角形の重心　基礎トレーニング8		○	○	○	
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）	○	○	○	6
		答案返却		○	○	○	
		（職業体験会、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式					8
		円周角の定理		○	○	○	
		円に内接する四角形		○	○	○	
		四角形が円に内接する条件		○	○	○	
		接戦と弦のつくる角		○	○	○	
	10月	接戦の長さ	（中間考査 10/14-17）	○	○	○	8
		方べきの定理		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
		2つの円		○	○	○	
		スポーツフェスティバル					
	11月	農高祭準備、農高祭	（ボランティアの日・農高祭・振休 11/2-11/10）				8
		セーフティ教室					
		10進法		○	○	○	
		2進法		○	○	○	
		約数と倍数		○	○	○	
	12月	素数と素因数分解	（期末考査 12/7-11）	○	○	○	6
		期末考査		○	○	○	
		答案返却、行事		○	○	○	
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）					8
		始業式					
		素因数分解の利用		○	○	○	
		最大公約数と最小公倍数		○	○	○	
		整数の割り算		○	○	○	
	2月	ユークリッドの互除法	（自宅学習・入選・採点2/19-24）	○	○	○	8
		卒業考査		○	○	○	
		答案返却					
		入選・採点					
	3月		（学年末考査 3/1-5）				4
		卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	78
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
保健体育	体育	（	1	単位）	4年A組・B組

使用教科書：	最新高等保健体育	使用教材等：	

学習目標： 体育の見方・考え方を働かせ、自己の状況に応じて主体的に運動に取り組み、心と体を一体として捉えながら、生涯にわたって継続して運動に親しむ資質・能力を育成する。

観点別の評価基準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）	・授業の受け方、係の役割、評価についての説明により安全かつ円滑な授業運営をできるようにすることができる。 ・体力テストを実施し、自身の体力の現状を把握するとともに、測定結果をもとに課題を見出し、体力の向上や健康の保持増進に向けた運動を主体的に選択・実践する。また、自己の変容を振り返り、継続的な運動の在り方について理解を深める。				3
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）				○	
		オリエンテーション				○	
		体つくり運動			○		
		体つくり運動		○			
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	（中間考査 5/26-29） ・基本的な技能を活用し、自己の状況に応じたプレーの仕方を工夫しながらラリーやゲームを行う。また、仲間と関わりながら運動に親しみ、生涯にわたって継続できる運動の在り方について理解を深める。	○			4
		体つくり運動		○			
		バドミントン		○			
		バドミントン		○			
		中間考査				○	
	6月	バドミントン	・基本的な技能を活用し、自己の状況に応じたプレーや関わり方を工夫しながらゲームを行う。また、仲間と協力しながら運動に親しみ、生涯にわたって継続できる運動の在り方について理解を深める。		○		4
		バドミントン			○		
		アルティメット		○			
		アルティメット		○			
		アルティメット		○			
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）			○	3
		答案返却		○			
		（職業体験会、学年集会、終業式）		○			
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式	・基本的な技能を活用し、自己の状況に応じたプレーや関わり方を工夫しながらゲームを行う。また、仲間と協力しながら運動に親しみ、生涯にわたって継続できる運動の在り方について理解を深める。		○		4
		アルティメット			○		
		スポーツフェスティバル練習		○		○	
		スポーツフェスティバル練習		○		○	
		スポーツフェスティバル練習			○	○	
	10月	スポーツフェスティバル練習	（中間考査 10/14-17） ・基本的な技能を活用し、自己の状況に応じたプレーの仕方を工夫しながらラリーやゲームを行う。また、仲間と関わりながら運動に親しみ、生涯にわたって継続できる運動の在り方について理解を深める。		○	○	4
		スポーツフェスティバル練習			○	○	
		中間考査				○	
		卓球・体育理論		○		○	
		卓球・体育理論		○		○	
	11月	農高祭準備・農高祭	（ボランティアの日・農高祭・振休11/2-11/10） ・モルックの技能を活用し、得点状況に応じた戦術やプレーの仕方を工夫しながらゲームを行う。また、仲間と関わりながら運動に親しみ、生涯にわたって継続できる運動の在り方について理解を深める。				4
		セーフティー教室		○		○	
		卓球・体育理論			○	○	
		ニュースポーツ		○			
		ニュースポーツ		○			
	12月	ニュースポーツ	（期末考査 12/7-11）		○		3
		期末考査				○	
		答案返却、行事		○			
		HR指導、学校行事、終業式		○			
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）	・自己の体力や生活に応じた運動の行い方を理解し、無理のない範囲で継続して走るとともに、生涯にわたって健康の保持増進に活用できる運動習慣について考える。				4
		始業式		○		○	
		長距離走		○		○	
		長距離走		○		○	
		長距離走			○	○	
	2月	長距離走	（自宅学習・入選・採点2/19-24）・モルックの技能を活用し、得点状況に応じた戦術やプレーの仕方を工夫しながらゲームを行う。また、仲間と関わりながら運動に親しみ、生涯にわたって継続できる運動の在り方について理解を深める。		○	○	4
		長距離走		○		○	
		ニュースポーツ			○		
		ニュースポーツ			○		
	3月	学年末考査	（学年末考査 3/1-5）			○	2
		答案返却、卒業式予行・卒業式		○			
		HR指導、学年集会、行事		○			
		（行事・特別指導）、修了式、		○			
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	39
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
芸術	音楽Ⅱ	（	2	単位）	4A、4B

使用教科書：	教育出版　音楽Ⅱ　Tutti+	使用教材等：	キーボード、ギター、教科書、CD音源、ICT機器等

学習目標：歌唱・器楽・創作・鑑賞の学習を通して、音楽表現や、音楽について詳しく学ぶ。

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
曲想と音楽の構造や文化的、歴史的及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に着ける。	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。	主体的、協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中） （始業式・入学式・教科書・健診・対面式） 歌唱:『発声の練習曲』、武島　羽衣作詞　瀧　廉太郎作曲『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「楽譜の書き方・読み方」 テストバッテリー　授業なし オンライン学習事前指導　授業なし	歌唱分野では、歌う時の姿勢や、日本語の発音の仕方について学び、旋律や伴奏を聴いて、よりよい音楽表現で歌うために必要な技能を身に着ける。楽典では、楽譜の読み方、書き方を学び、歌唱・器楽・創作分野で生かすことができるようにする。	○	○	○	6
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休 歌唱:『発声の練習曲』、武島　羽衣作詞　瀧　廉太郎作曲『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「音程」 修学旅行　授業なし 歌唱:『発声の練習曲』、武島　羽衣作詞　瀧　廉太郎作曲『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「音程」 中間考査	（中間考査 5/26-29） 歌唱分野では、歌う時の姿勢や、日本語の発音の仕方について学び、旋律や伴奏を聴いて、よりよい音楽表現で歌うために必要な技能を身に着ける。楽典では、音程について学び、音と音の間にある隔たりを基に、メロディの作られ方を理解する。	○ ○	○ ○	○ ○	8
	6月	音楽史:「古代から中世までの音楽」 歌唱:武島羽衣作詞、瀧　廉太郎作曲 『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「音程」 音楽史:「古代から中世までの音楽」 歌唱:武島羽衣作詞、瀧　廉太郎作曲 『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「音程」 音楽史:「古代から中世までの音楽」 歌唱:武島羽衣作詞、瀧　廉太郎作曲 『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「音程」 音楽史:「古代から中世までの音楽」 歌唱:武島羽衣作詞、瀧　廉太郎作曲 『花』、北原　白秋作詞　山田　耕筰作曲『からたちの花』、楽典:「音程」 音楽Ⅱ　期末考査(実技、筆記)	歌唱分野では、歌う時の姿勢や、日本語の発音の仕方について学び、旋律や伴奏を聴いて、よりよい音楽表現で歌うために必要な技能を身に着ける。楽典では、音程について学び、音と音の間にある隔たりを基に、メロディの作られ方を理解する。音楽史では、古代から中世までの時代を生きた作曲家が残した、作品について学習し、鑑賞する。期末考査では、歌唱実技試験と、筆記試験を実施。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	8
	7月	期末考査 答案返却 （職業体験会、学年集会、終業式） （夏季休業中） （夏期休業中）	（期末考査 7/1-7）				6
	8月						
2学期	9月	始業式 鑑賞:J.S.バッハ作曲 『無伴奏ヴァイオリンソナタ第1番　アダージョ』 楽典:「機能和声とコード」 ギター:　引き語り『エーデルワイス』 楽典:「機能和声とコード」 ギター:　引き語り『エーデルワイス』 楽典:「機能和声とコード」 ギター:　引き語り『エーデルワイス』 楽典:「機能和声とコード」	鑑賞分野では、ヴァイオリンとギターの違いについて理解するとともに、バロックの時代を生きたバッハの作品を鑑賞し、ヴァイオリンという楽器の持つ表現力の幅広さや、バッハの音楽について理解を深める。器楽分野では、ギターを扱い、簡単なコードを押さえて、演奏し、『エーデルワイス』を弾き語りで演奏できることを目標に指導を行う。楽典では、クラシック音楽における、機能和声（和音のルール）と、ポピュラーで用いられる「コード進行」との違いについて理解し、和音の役割や、旋律に対する和音のあてはめ方を理解する。	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	8
	10月	都民の日　授業なし ギター:　引き語り『エーデルワイス』 楽典:「機能和声とコード」 中間考査 ギター:　引き語り『エーデルワイス』 楽典:「機能和声とコード」 スポーツ　フェスティバル　授業なし	（中間考査 10/14-17） 器楽分野では、ギターを扱い、簡単なコードを押さえて、演奏し、『エーデルワイス』を弾き語りで演奏できることを目標に指導を行う。楽典では、クラシック音楽における、機能和声（和音のルール）と、ポピュラーで用いられる「コード進行」との違いについて理解し、和音の役割や、旋律に対する和音のあてはめ方を理解する。	○ ○	○ ○	○ ○	8
	11月	農高祭準備、農高祭 セーフティ教室 鑑賞:古典派の交響曲　L.V.ベートーヴェン作曲『交響曲第9番 4楽章』 器楽・創作:キーボード「音楽を作ろう！」楽典:「機能和声とコード」 器楽・創作:キーボード「音楽を作ろう！」楽典:「機能和声とコード」 音楽史:「ルネサンスから古典派までの音楽」 楽典:「機能和声とコード」	（ボランティアの日・農高祭・振休11/2-11/10） 鑑賞分野では、ベートーヴェンの交響曲を鑑賞し、古典派の交響曲の特徴や形式、オーケストラの音色について理解する。器楽・創作では、楽典の学習で得た和音の知識を活用し、簡単な音楽を創作する活動を行う。音楽史では、ルネサンスから古典派までの音楽を鑑賞し、同時期に誕生した楽器の特徴や、音の響きについて理解する。楽典では、クラシック音楽における、機能和声（和音のルール）と、ポピュラーで用いられる「コード進行」との違いについて理解し、和音の役割や、旋律に対する和音のあてはめ方を理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8
	12月	音楽Ⅱ　期末考査(実技、筆記) 期末考査 答案返却、行事 HR指導、学校行事、終業式 （冬季休業中）	（期末考査 12/7-11） 期末考査では、器楽実技試験（ギターの弾き語り）と、筆記試験を実施。	○		○	6
3学期	1月	（冬季休業中） 始業式 創作:キーボード「音楽を作ろう」 鑑賞:I.ストラヴィンスキー作曲『春の祭典』、音楽史:「近現代の音楽」 創作:キーボード「音楽を作ろう」 鑑賞:I.ストラヴィンスキー作曲『春の祭典』、音楽史:「近現代の音楽」 創作:キーボード「音楽を作ろう」 鑑賞:I.ストラヴィンスキー作曲『春の祭典』、音楽史:「近現代の音楽」	創作分野では、1年間を通して学習した、音程や、和音の知識（コード進行）を生かして、メロディや副次的な旋律、伴奏を作り、キーボードで演奏できることを目標に指導する。音楽史では、近現代の音楽を扱う。鑑賞分野では、近現代の音楽が持つ、複雑性や音の特異性に注目し、ルネサンスや中世、古典派の音楽との音楽の違いを理解する。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	8
	2月	卒業考査　授業なし 建国記念の日　授業なし 歌唱:『早春賦』 楽典:「近親調」について 歌唱:『早春賦』 楽典:「近親調」について	（自宅学習・入選・採点2/19-24） 歌唱分野では、季節の歌を歌うことを通じて、「季節と人間」、「季節と音楽」のかかわりについて理解する。楽典では、「調（キー）」について学習し、音楽のイメージをより詳細にとらえることができるようになることを目標に、指導を行う。	○ ○	○ ○	○ ○	8
	3月	学年末考査 答案返却、卒業式予行・卒業式 HR指導、学年集会、行事 （行事・特別指導）、修了式、 （春季休業中）	（学年末考査 3/1-5）				4
履修上の注意		楽器を丁寧に扱い、豊かな心で、自然な音楽表現を目指して、取り組みましょう。			予定時数計		78
特記事項等		特になし					

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
美術	美術Ⅱ	（	2	単位）	4年A・B組

使用教科書:	高校生の美術2 （日文 美Ⅱ702）	使用教材等:	教科書 プリント 描画・彩色用具各種
学習目標:	美術Ⅰの内容を基礎として、更に各課題により美術表現の幅を広げ、感性を豊かにし、創造的な表現力を高め自己の価値観を形成する。また、美術文化への理解を深めることを目標とする。		

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
美術に関する知識と各課題での表現の技術の習得度合いの評価。	作品の作成、観察、分析、説明等、思考力を必要とする活動の評価。	美術に対して興味や関心を持ち、授業に意欲的に参加し、積極的に学習に取り組む姿勢への評価。

	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）	教科書作品模写により生徒各自の描写力の評価。レタリング練習による正確な描き込みの評価とその後の「文化祭ポスター」制作への展開を図る。				4
		・定期健康診断					
		・教員、生徒自己紹介・教科書作品模写		○	○	○	
		・テストバッテリー			○	○	
		・美の秩序・構成の基本					
	5月	・美の秩序・構成の基本	美術制作における構成の基本を学習する。「文化祭ポスター」制作ではアイデアスケッチでの構図、文字の配置、絵柄の内容を評価。	○	○	○	6
		・4年 修学旅行		○	○	○	
		・美の秩序・構成の基本					
		・中間考査					
		・文化祭ポスター制作		○	○	○	
	6月	・文化祭ポスター制作	「文化祭ポスター」制作ではアイデアスケッチでの構図、文字の配置、絵柄の内容を具体的に表現し、配色、絵の具材料の扱いを含め、表現できたかを評価。	○	○	○	8
		・文化祭ポスター制作		○	○	○	
		・文化祭ポスター制作		○	○	○	
		・文化祭ポスター制作		○	○	○	
	7月	・期末考査	（期末考査 7/2-7）				
		・答案返却					
		・成績会議 ホームルーム					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	・文化祭ポスター制作	「遠近の描き方」プリント学習では１点透視図、２点透視図を理解出来たかを評価。木彫「壁掛け鏡」アイデアスケッチでは、課題内容を理解し、それを具体的に表現でき	○	○	○	8
		・「遠近の描き方」プリント学習			○	○	
		・「遠近の描き方」プリント学習			○	○	
		・木彫「壁掛け鏡」アイデアスケッチ			○	○	
	10月	・都民の日	木彫「壁掛け鏡」アイデアスケッチでは、より具体的に「木の特性」と「様々な彫り方」を理解し、それを具体的にスケッチで表現できたかを評価。				2
		・木彫「壁掛け鏡」アイデアスケッチ		○	○	○	
		・中間考査					
		・農業クラブ全国大会					
		・スポーツフェスティバル					
	11月	（農高祭）	木彫「壁掛け鏡」木の特性の理解、彫刻刀の使用方法の理解、及びその裁断と彫刻刀を使った様々な彫りによる表現ができたか、また長期課題で根気強い取り組みが出来たかを評価。				6
		・木彫「壁掛け鏡」アイデアスケッチ		○	○	○	
		・木彫「壁掛け鏡」木への転写		○	○	○	
		・木彫「壁掛け鏡」裁断と彫り		○	○	○	
	12月	・木彫「壁掛け鏡」裁断と彫り	木彫「壁掛け鏡」アイデアスケッチから実際の木製板の特性の理解、彫刻刀の使用方法の理解、及びその裁断と彫刻刀を使った様々な彫りによる表現ができたかを評価。	○	○	○	2
		期末考査					
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）	木彫「壁掛け鏡」完成までの彫刻刀の使用方法の理解、及び彫刻刀を使った様々な彫りによる表現ができたか、最後に的確な着彩により完成することが出来たかを評価。				6
		・木彫「壁掛け鏡」彫りと着彩		○	○	○	
		・木彫「壁掛け鏡」着彩		○	○	○	
		・木彫「壁掛け鏡」着彩		○	○	○	
	2月	・卒業考査					
		・建国記念の日					
		・卒業判定二次会議					
	3月						
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	42
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数				対象学年・組
書道	書道Ⅱ	（	2	単位）	4－AB

使用教科書:	教育図書　書道Ⅱ	使用教材等:	
学習目標:	書を楽しむ。書の歴史を踏まえ、表現力を高める。創作力を高める。		

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
確かな書の表現技法を習得し、それを活かしてより自由で個性的な書の表現を工夫している	鑑賞等で感性を磨き、自己の感興や意図を表現するため、主体的に個性的・創造的な表現に繋げられている	生涯にわたり書を愛好する心情や、書の伝統と文化を尊重する態度を身につけようとしている

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）	自己表現に応用できるよう、基礎力を高める。				6
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）					
		ペン字練習					
		ペン字練習					
		小筆による氏名の練習（楷書と行書）					
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	（中間考査 5/26-29）				8
		ペン字練習					
		篆書体1					
		篆書体2					
		中間考査					
	6月	隷書体1	楷書と異なる点を理解する。				8
		隷書体2					
		隷書体3					
		草書体1					
		草書体2					
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7）				6
		答案返却					
		（職業体験会、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式	仮名の込められた工夫と伝統思想を学ぶ				8
		仮名の学習1					
		仮名の学習2					
		仮名の学習3					
		仮名の学習4					
	10月	文化祭作品制作	（中間考査 10/14-17）				8
		文化祭作品制作					
		中間考査					
		文化祭作品制作					
		文化祭作品制作					
	11月	農高祭準備、農高祭	（ボランティアの日・農高祭・振休 11/2-11/10）				8
		セーフティ教室					
		仮名創作					
		漢字創作					
		漢字創作					
	12月	漢字仮名交じり創作	（期末考査 12/7-11）				6
		期末考査					
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）					8
		始業式					
		書き初め					
		漢字仮名交じり創作					
		漢字仮名交じり創作					
	2月	仮名の連綿と散らし書き	（自宅学習・入選・採点2/19-24）				8
		仮名の連綿と散らし書き					
		仮名の連綿と散らし書き					
		ペン字まとめ					
	3月	学年末考査	（学年末考査 3/1-5）				4
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	78
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数	対象学年・組
英語	英語コミュニケーションⅡ （ 2 単位）	4年A・B組

使用教科書:	VISTA English Communication Ⅱ	使用教材等:	作成したプリント

学習目標: 言語能力の本質としての思考力・判断力・表現力の養成を土台として、英語の基礎的な知識や技能の習得、資格試験に合格できる程度の英語力を身に付ける。

観点別の評価基準		
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
既習の事項が身についており、授業の中で学習したことが適切な場面で使用することができている。	学んだことを異なる場面でも、その論理・場面に応じた内容を表現できている。	学習課題を学んだことを活かして取り組もうとしている。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）					6
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）	・ロボットやAIを用いた「スマート農業」における先端技術を通じて、未来の農業について考えさせる。				
		Lesson 6 Smart Agriculture		○	○	○	
		Lesson 6 Smart Agriculture		○	○	○	
		Lesson 6 Smart Agriculture		○	○	○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	・現在完了形の受け身について、形を理解し解釈することができるようになる。（中間考査 5/26-29）				8
		ALT①				○	
		Lesson 6 Smart Agriculture		○	○	○	
		Lesson 6 Smart Agriculture		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
	6月	Lesson 7 A Martial Art on Tatami	・「競技かるた」の魅力を知ることを通して、日本文化への理解を深める。 ・関係代名詞の基礎を理解し、適切に用いることができるようにする。	○	○	○	8
		Lesson 7 A Martial Art on Tatami		○	○	○	
		Lesson 7 A Martial Art on Tatami		○	○	○	
		ALT②				○	
		Lesson 7 A Martial Art on Tatami		○	○	○	
	7月	期末考査	（期末考査 7/1-7） ・答案返却 ・1学期のまとめ	○	○	○	6
		答案返却					
		（職業体験会、学年集会、終業式）					
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式	・動物や自然環境について「バイオロギング」を通して理解する。				8
		Lesson 8 Biologging		○	○	○	
		Lesson 8 Biologging		○	○	○	
		Lesson 8 Biologging		○	○	○	
		ALT③		○	○	○	
	10月	Lesson 8 Biologging	・分詞構文や強調構文など様々な英語の構文を適切な場面で使用することができる。（中間考査 10/14-17）	○	○	○	8
		Lesson 8 Biologging		○	○	○	
		中間考査		○	○	○	
		ENJOY READING! The Open Window		○	○	○	
		ALT④				○	
	11月	農高祭準備、農高祭	・これまでの学習を通して得た知識で小説の内容を英語で理解する。（ボランティアの日・農高祭・振休11/2-11/10）				8
		セーフティ教室					
		ENJOY READING! The Open Window		○	○	○	
		ALT④				○	
		ENJOY READING! The Open Window		○	○	○	
	12月	ENJOY READING! The Open Window	（期末考査 12/7-11） ・答案返却 ・2学期のまとめ	○	○	○	6
		期末考査		○	○	○	
		答案返却、行事					
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）	・第一次世界大戦における「クリスマス休戦」について、文化背景や時代を考慮しながら世界平和について考える。				8
		始業式					
		ALT⑤				○	
		ENJOY READING! The Christmas Truce		○	○	○	
		ENJOY READING! The Christmas Truce		○	○	○	
	2月	4年卒業考査	・3学期のまとめ ・答案返却 （自宅学習・入選・採点2/19-24）	○	○	○	8
		答案返却					
		まとめ					
		まとめ					
		一次募集・採点					
	3月	学年末考査	（学年末考査 3/1-5）				4
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事					
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意		予定時数計	78
特記事項等			

令和8年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数	対象学年・組
情報	コンテンツの制作と発信 （ 2 単位）	4B

使用教科書:	実教出版『情報の表現と管理』	使用教材等:	

学習目標:
・文字・画像・映像・音声などの特色や活用法を学ぶ。
・コミュニケーションやプレゼンテーションの基礎的・基本的な知識と技術を習得する。
・情報を管理し活用する能力と態度を身に付け、課題を発見し、合理的かつ創造的に解決する力を養う。

観点別の評価基準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
情報の表現と管理について体系的・系統的に理解するとともに関連する技術を身に着けることができたか。	情報の表現と管理に関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力が養えたか。	適切な情報の表現と管理を目指して自ら学び、情報産業の維持と発展に必要な情報の表現と管理に主体的かつ協働的に取り組む態度を養えたか。

学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	（春季休業中）					
		（始業式・入学式・教科書・健診・対面式）	課題作成の正確性・到達度				
		第1章 情報社会と情報の表現	・発問	○	○	○	6
		1節 メディアと情報の表現	・観察	○	○	○	
		2節 情報社会における情報の表現		○		○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休			○	○	
		第2章 メディアの特性とその表現		○	○	○	
		1節 文字・図解による表現	（中間考査 5/26-29）	○		○	8
		1節 文字・図解による表現		○		○	
		中間考査					
	6月	2節 音による表現		○		○	
		2節 音による表現	課題作成の正確性・到達度		○	○	
		3節 静止画による表現	・発問	○	○	○	8
		3節 静止画による表現	・観察	○		○	
	7月	期末考査					
		答案返却					
		（職業体験会、学年集会、終業式）	（期末考査 7/1-7）				6
		（夏季休業中）					
		（夏期休業中）					
	8月						
2学期	9月	始業式					
		4節 動画による表現	課題作成の正確性・到達度		○	○	
		4節 動画による表現	・発問	○		○	8
		4節 動画による表現	・観察		○	○	
		4節 動画による表現		○		○	
	10月	5節 データサイエンスとデータの表現		○		○	
		5節 データサイエンスとデータの表現			○	○	
		中間考査	（中間考査 10/14-17）				8
		5節 データサイエンスとデータの表現		○	○	○	
		5節 データサイエンスとデータの表現		○	○	○	
	11月	農高祭準備、農高祭					
		セーフティ教室		○		○	
		6節 情報の発信	（ボランティアの日・農高祭・振休 11/2-11/10）		○	○	8
		6節 情報の発信		○	○	○	
		7節 コミュニケーションの基礎		○		○	
	12月	7節 コミュニケーションの基礎			○	○	
		期末考査					
		答案返却、行事	（期末考査 12/7-11）				6
		HR指導、学校行事、終業式					
		（冬季休業中）					
3学期	1月	（冬季休業中）					
		始業式					
		7節 コミュニケーションの基礎			○	○	8
		第3章 情報の管理		○		○	
		1節 情報の管理とドキュメンテーション		○		○	
	2月						
			（4年卒業考査）				
							0
			（自宅学習・入選・採点2/19-24）				
	3月	学年末考査					
		答案返却、卒業式予行・卒業式					
		HR指導、学年集会、行事	（学年末考査 3/1-5）				0
		（行事・特別指導）、修了式、					
		（春季休業中）					

履修上の注意	定期考査は行わず、授業内の作業・日常点等を総合的に評価する。	予定時数計	66
特記事項等			